

Heartful Day

松山聾学校と交流学習会を行いました！



人権委員と有志生徒7名は、12月19日（火）に松山聾学校の皆さんと交流学習会を行いました。コロナ禍で、交流ができなかったりオンラインでの交流となったりした年もありましたが、今年度は松山聾学校を訪問し交流を深めることができました。

今回のハートフルデーでは、交流学習会での様子や、私たちが感じたこと、学んだことを報告したいと思います。

松山聾学校について

松山聾学校は松山市馬木町にあり、聴覚に障がいがある皆さんが学んでいる学校です。幼稚部から高等部まで様々な年齢の幼児・児童・生徒が在籍しており、寄宿舎と呼ばれる施設で平日は共同生活を送っている生徒もいるそうです。今回は、寄宿舎の娯楽室で、6名の高等部の方と交流学習を行いました。



自己紹介で手話に挑戦！

私たちは、自分の名前を手話で紹介できるように、事前に練習を行いました。

本番はとても緊張しましたが、言葉と手話で相手に「伝える」気持ちを大切にして自己紹介を行いました。松山聾学校の先生から、手話をするときのポイントを教えていただきました。

手話をするときのポイント

- 相手に伝わりやすいように、手をゆっくり動かす。
- 口の動きを読み取るので、マスクはできるだけ外し、ゆっくり大きく口を動かして話す。



全員とサイコロトーク

最初に、サイコロトークを行いました。北条高校生と松山聾学校生がペアになり、サイコロを振って、出た目のテーマ（将来の夢、好きなこと、最大の失敗など）で話をしました。

言葉、身振り・手振り、筆談など、様々な方法でコミュニケーションをとりました。お互いに、初めはとても緊張してぎこちない場面もありましたが、慣れてくるとどんどん話が盛り上がり、時間が足りないと感じるほどでした。



ジェスチャーゲーム対決！

次に、ジェスチャーゲームを行いました。司会者が出したお題を声を出さずにジェスチャーだけで相手に伝え、当ててもらうゲームです。まずは、学校対抗戦。「水泳」「サンタクロース」などのお題を、仲間と協力しながらジェスチャーで表現しました。

次に、混合チームで対抗戦を行いました。「名探偵コナン」や「サザエさん」など、学校対抗戦よりも難しいお題ばかりでジェスチャーでの表現に苦労しましたが、チームで協力してジェスチャーを考えました。笑顔あふれるとても楽しい時間になりました。



交流学习を通して学んだこと・感じたこと

<手話で難しかったところ>

・似たような手話があり、難しいと感じた。

<手話で工夫したところ>

- ・一つ一つの動作を丁寧に、ゆっくり行った。
- ・手の動きを大きくして、口の動きと合わせるように工夫した。
- ・「伝えたい」という気持ちを、表情や体の動きで表現した。
- ・手の動きだけでなく、口の動きも大きくするように意識した。



<交流学习を通しての感想>

- ・今まで遠い存在に感じていたけど、好きな曲や芸能人など共通する部分もあった。全然壁がなくて、話しやすかった。
- ・とても話しやすく、友達になりたいと思った。
- ・手話ができなくても、ゆっくり話したり、ジェスチャーなどを使ったりすることで十分コミュニケーションをとることができると感じた。

閉会后、聾学校の皆さんから手作りのポチ袋、ストラップをお土産にいただきました。ありがとうございました。

